

実践例 大田原市立大田原小学校

教科・科目等 音楽科（2学年 33名）

本時の目標

思いに合った表現をするために必要な反復を用いて、グループで話し合い、お祭りに合った音楽を作ることができる。

育てたい資質・能力等

国や地域の音楽の違いを捉えさせ、それらの特性やよさを理解させる。（知性）

教材

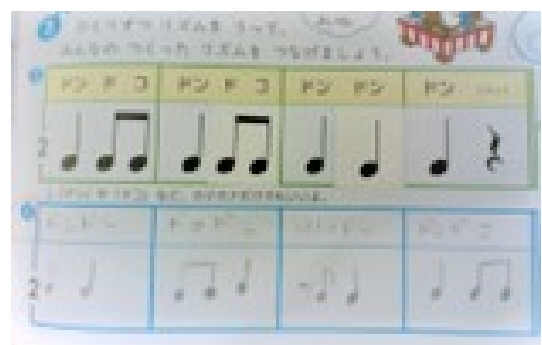
- ・デジタル教科書
- ・和太鼓
- ・7月に鑑賞したお囃子の動画
- ・教科書
- ・ノート

展開

- 大田原・城山地区のお囃子に親しんだことを思い出し、特徴を捉える。
- 既習の外国や沖縄の踊りや音楽と、大田原・城山地区のお囃子を比較し、それぞれの特徴やよさを知る。
- 実物の和太鼓を叩いて音色を聞き、イメージをもつ。
- お囃子のリズムを支える太鼓のリズムに着目し、自分のリズムを考える。
- 4人グループで4つのリズムをつなぎ、簡単な音楽をつくる。
- イメージに合う音楽に近づけるため、協力して工夫を重ね、発表する。（かけ声・順番・叩き方等）



←学習の様子



児童が作ったリズム